学校番号	315

令和８年度　理科

教科	理科	科目	理科演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	新課程　大学入学共通テスト対策　チェック＆演習　生物基礎（数研出版）、駿台受験シリーズ　短期攻略　大学入学共通テスト　地学基礎（駿台文庫）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「理科演習」では、主に生物基礎・地学基礎に向けた問題演習を中心に行います。これらの活動を通して科学についての基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を育成するとともに、皆さんの進路実現に向けた学習支援を行っていきます。今後の進路において「生物基礎」・「地学基礎」を活用する前提で授業を行いますので、既習内容の復習はきちんと行うようにしましょう。

2　学習の到達目標

①知識・技能の習得
生物基礎・地学基礎の基本的な概念、法則および理論を理解し、説明することができることをめざす。
②統合的な知識の活用
上記の知識・技能をもとに理論的な考えを実際の実験・観察結果にあてはめて考察することで、実験・観察結果から適切な思考・判断を行える。また、結果や考察を具体的に他者へわかりやすく表現できる。
③総合的な理解と応用力
様々な問題演習を通して、得られたデータや情報を批判的に評価し、科学的な方法に基づいて新たな問いを立て、自ら探究する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物基礎・地学基礎に関して、実践的な演習問題を解くための基礎的な知識・技能を身につけている。	生物基礎・地学基礎に関して、実践的な演習問題を解くプロセスを理解し、問題内の情報・条件に応じて適切な判断･表現ができるようにする。	進路に向けて､自らの弱点を把握できるようにする｡その弱点に対して､学習の方法を工夫することで修正していくことができるようにする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生物基礎の演習	生物の特徴 遺伝子とその働き 生物の体内環境の維持	a：生物基礎について基本的な知識・技能が身についている。 b：生物基礎について、知識・技能をもとに与えられた条件に対して適切な判断･表現ができる。 c：自らの課題を把握し、補強することができる。	問題演習 確認テスト	問題演習 レポート 確認テスト	レポート 振り返りシート 各提出物への工夫や取り組み状況
	地学基礎の演習	固体地球 鉱物･岩石 地質･地史	a：地学基礎について基本的な知識・技能が身についている。 b：地学基礎について、知識・技能をもとに与えられた条件に対して適切な判断･表現ができる。 c：発展的な内容にも積極的に取り組む。			
2学期	生物基礎の演習	生物の体内環境の維持 生物の多様性と生態系	a：生物基礎について基本的な知識・技能が身についている。 b：生物基礎について、知識・技能をもとに与えられた条件に対して適切な判断･表現ができる。 c：自らの課題を把握し、補強することができる。	問題演習 確認テスト	問題演習 レポート 確認テスト	レポート 振り返りシート 各提出物への工夫や取り組み状況
	地学基礎の演習	地質･地史 大気･海洋 天文 自然災害	a：地学基礎について基本的な知識・技能が身についている。 b：地学基礎について、知識・技能をもとに与えられた条件に対して適切な判断･表現ができる。 c：発展的な内容にも積極的に取り組む。			
3学期	総合演習	これまでの問題演習をもとにより分野横断的な問題演習やより実践的な演習を行う。	a:多様な問題に対し、適切な知識・技能を発揮できる。 b:多様な問題に対し、知識・技能を用い、的確な思考判断を行える、また、表現につなげられる。 c:演習問題を行った後も、解説を確認したり、誤答の原因を探究している。	問題演習	問題演習 レポート	レポート 振り返りシート 各提出物への工夫や取り組み状況

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度